



FMU 男女共同参画通信

第29号 June 2021

福島県立医科大学男女共同参画支援室

今年度より改定された「男女共同参画推進行動計画 2021（令和3）年度～2023（令和5）年度」に基づき、仕事や研究とライフイベントを両立し、個々人のキャリアや所属内の男女共同参画を実現出来るよう、さらには多様性（ダイバーシティ）に関する意識の醸成を図るための第一歩として様々な取組を行って参ります。今年度も皆様のご協力とご支援よろしくお願ひいたします。

男女共同参画推進本部長の挨拶

男女共同参画推進本部は平成22年度に医療人育成・支援センター内に設置された「女性医師支援センター」を前身に、平成26年度に開設されました。当初は女性医師の支援を目的に活動が開始されたわけですが、男女が平等に活躍して責任を負う社会を作り上げるためには、男性の働き方も見直さなくてはなりません。医師不足を背景に医師の働き方改革は遅れ気味ではあります。しかし、待ったなしの状況であることは十分認識する必要があります。



錫谷本部長

さらに最近では、男女のみならず、LGBTをも含めた性別や年齢・国籍・人種など、様々な違いを超え、すべての人が個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指す“ダイバーシティの推進”が求められるようになってきました。このような社会の変化に遅れないよう男女共同参画室では新しい課題にも取り組んで参ります。昨年度から続く新型コロナウイルス感染の流行に伴い、本年度の活動も様々な制約を受けています。ただ、このような状況の中だからこそやらなくてはならない課題もあります。皆様のご理解とご協力何卒よろしくお願ひ申し上げます。

男女共同参画推進行動計画を改定

このたび、令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間を計画期間として、男女共同参画推進行動計画を改定しました。この行動計画は、本学のすべての教職員及び学生が性別、人種、国籍、職歴、年齢、障がいの有無等に関わりなくあらゆる場面において、それぞれが持てる力を十分に発揮できる環境づくりや仕事と生活の調和が図られるための取組となります。今年度からの行動計画には、ダイバーシティの視点を含めた意識改革についての記載を加えました。また、「女性教員の在職比率」等の目標値を現状に沿ったものに見直し、新たな取組として「ロールモデルの紹介」等を行うこととしました。さらに、体制をより強力なものとするため、各学部等に「男女共同参画推進部長」を配置しました（詳細は裏面）。

これまで同様、「女性教員在職比率」「年休取得率」等の目標達成を目指すとともに、ダイバーシティ化を見据えて参ります。

■女性教員在職比率向上

<医学部>

2021年度目標値 19.1%

2022年度 " 19.7%

2023年度 " 20.3%

(2020年度実績値 18.4%)

<会津医療センター>

2021年度目標値 11.1%

2022年度 " 13.0%

2023年度 " 14.8%

(2020年度実績値 9.3%)

■女性教員採用比率向上

2021年度以降の目標値 30%以上
(2019年度医学部実績値 21.2%)

■大学事務局女性委員比率向上

2021年度目標値 27%

2022年度 " 28%

2023年度 " 29%

(2020年度実績値 17.8%)

■年休取得率向上

2021年度目標値 50%

2022年度 " 55%

2023年度 " 60%

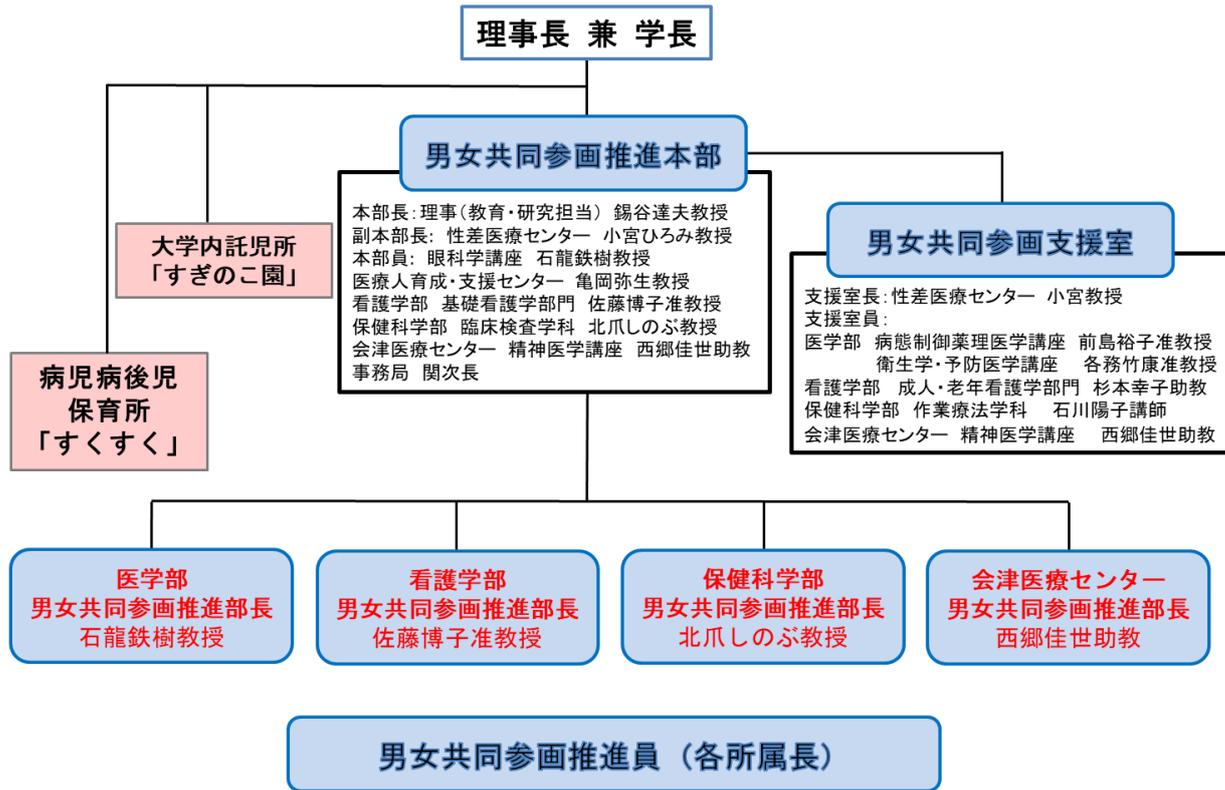
(2019年度実績値 46.3%)

■職場研修会の開催

2021年度以降の目標 年1回以上

(2020年度実績 年1回)

令和3年度からの福島県立医科大学男女共同参画推進体制



今年度より保健科学部が創設されたことと行動計画の変更により、男女共同参画推進本部体制も大幅に変更となりました。各学部、会津医療センターに推進部長を配置し、FMUカフェの企画・運営を行います。

「研究支援員の配置に係る要望調査」のご案内

ライフイベント(出産・育児・介護・看護等)を抱えた教員の研究支援を行っております。

つきましては、令和3年度下半期配置分の調査を行います。

支援期間 R3年10月1日

~R4年3月31日

1. 対象者

本学の主に医学部・看護学部・保健科学部・会津医療センターに所属する助手以上(大学院生も含む)の研究者(性別は問いません)のうち①~④にあてはまる教員。

- ①妊娠中
- ②家庭において、小学校6年生までの児童の主たる養育者
- ③同居・別居に問わず市町村の要介護認定を受けている親族の主たる介護者
- ④その他、上記に準ずる状況(家族の看病をしている等)

2. 支援を希望される方

7月に配布予定の調査票にて、詳細をご確認ください。(デスクネット掲載予定)

育児サポート事業説明会を開催



5月24日(月)に11号館第一臨床講義室にて会場およびWEBによる同時開催方式により「育児サポート事業説明会」を開催しました。説明会では、本学の病児病後児保育「すくすく」、育児サポート事業の「福島市ファミリーサポートセンター」、「こども緊急サポートネットワークふくしま」のスタッフの方々に事業の概要、申込み方法などについてご説明いただきました。

ご利用を希望の方は、お気軽に当支援室までご連絡ください。また、詳細はHPでも紹介しておりますので、是非ご覧ください。

<http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/effort/>



福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel: 024-547-1657 (内線: 2807) / HP: <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ
 コーディネーター 橋本 にしき